

TCスクール 第5期

# TCを考える

---

—わたしが目指す未来—

医療法人きずな きずな歯科クリニック  
トリートメント・コーディネーター

加納 由理

2017年8月13日

歯科医院に通う患者のうち、自分にとって最善の治療を把握した上で治療を受けている人はどれほどいるのだろうか。歯科医院に通っていない人に関しては、治療が必要か否か、それすら知らずに過ごしているのが現状である。現在の日本の歯科医療においてトリートメント・コーディネーター（以下 TC）の存在は、こうした歯科医療の現状を打破する糸口となり得る。

TC の役割は、いくつかの視点に分けて考えることができる。患者にとっての役割と、歯科医師にとっての役割である。患者にとって、自分の口腔内がどういう状態なのか、どんな治療が必要なのか、その方法、期間、費用、それらは未知の領域であることが多い。近年の医療においてインフォームド・コンセントの重要性が高まる中、歯科医療でも治療に関する十分な説明と同意は不可欠になってきており、患者側もそれを求めている。しかし、診療の合間に十分な時間を確保し、患者全員に必要な説明をすることは、歯科医師にとっては経営上難しい問題となっている。加えて、全員に時間がとれないということは、もしかすると医院に大きな利益を生み出すかもしれない患者を、みすみす逃しているということでもある。そこで両者の課題をクリアする存在こそが TC である。TC が行うカウンセリングやコンサルテーションは、患者にとっては必要な知識と選択肢が得られる場であり、歯科医師にとっては自らの時間を割くことなく患者へ十分な説明ができるための手段となる。それだけではない。そんな TC の評判を聞きつけて、これまで歯科医院に通っていなかった人が来院する可能性だってあるのだ。そうなれば、これまで以上の利益が出るということは容易に想像がつく。患者と歯科医師、両者の願望を満たすだけでなく、歯科医院に通う人が少ないという日本の歯科医療の現状まで変えてしまう可能性を持った TC の存在は、今後ますます欠かせないものになっていくはずだ。

しかし、TC として知識やスキルを身につけて、ただカウンセリングやコンサルテーションを行うというだけでは、理想の TC とは言い難い。最も重要なのは、患者を幸せにしたいという気持ちではないか。わたしたち TC が考えるのは口腔内のことだけであってはならない。口腔内は、その人が生きてきた人生そのものだし、だからこそ治療をすることでその人の人生を大きく変えることができる。それを患者本人に理解してもらうことも、TC の大きな役割のひとつだ。わたしたちの一言がその人の人生の方向を決めるかもしれないという自覚を持って、いつも相手の人生に寄り添い、この人にとって何が最善か、どのような治療をすればこの人は幸せになれるのかを常に考えながら話を進めていける、それがわたしの考える理想の TC 像である。

そしてこのたび、そんな理想の TC になるべくこの TC スクールを受講したわけであるが、ここに来てわたしは、自分の成長を大きく感じている。TC になると決意してから、気づけば1年半という歳月が経過していた。医院で初めての TC として、何から勉強していいかもわからず、システムの作り方もわからない、そんな先の見えない道を照らしてくれたのが鈴木先生だった。今ではシステムも概ね整い、実際にカウンセリングやコンサルをして患者と関わり、TC としての喜びを感じている毎日で、わたしにとってこの TC スクールとの

出会いは、今思えば運命だったのではないかと、そう思えるほどだ。今後わたしは、きずな歯科クリニックで理想の TC となるため、このスクールで学んだことを存分に活かして成長していく所存だ。現状の課題としては、歯科医師との意思疎通や、患者を見極める力であったりするのだが、自分がどんな TC になりたいかというイメージを常に持つておくことは忘れないようにしたい。一人でも多くの人に、歯科治療の重要性や人生への影響を知ってもらい、周りの人を巻き込んで幸せを伝染していけるような、そんな人になりたい。そして歯科医師の先生方からも、TC としてスタッフとしてもっと頼ってもらえるような大きな存在として、医院を支えていきたい。

TC として、やりたいことは山積みだし、やりたいものもそれなりに大きいものではあるが、わたしの TC としての未来は明るい。そこへ向かって突き進むのみである。